

9月定例市議会報告

9月定例市議会は、9月8日に開会、9月26日に閉会し、出雲市一般会計第3回補正予算など33議案が可決、承認されました。
今回は、主な議決案件をお知らせします。



たち上る産地育成支援事業を活用して、産地づくりを目指します(写真は平田柿選果場の様子 10月3日)

予算案件

平成17年度出雲市一般会計第3回補正予算(左下表)
平成17年度出雲市介護保険事業特別会計第1回補正予算
平成17年度出雲市企業用地造成事業特別会計第1回補正予算
平成17年度出雲市病院事業会計第1回補正予算

主な条例案件

出雲市病院事業使用料及び手数料条例の一部改正
総合医療センターでの重度心身障害児(者)短期入所事業を開始、介護保険法の改正に伴う使用料などを改定しました。
出雲市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定
10月6日から電子申請等受付システムを運用開始しました(詳しくは前回9月22日号の広報いずもをご覧ください)。

平成17年度 一般会計第3回補正予算

総額 12億1,100万円

主な事業

事業名	(千円)
たち上る産地育成支援事業	88,200
企業参入促進整備事業	43,217
いきいき集落営農推進事業	29,000
国道9号バイパス関連道路整備事業	99,900
湖陵総合公園野球場改修事業	64,000
校舎・屋体耐震化優先度調査事業	16,000
科学館増築事業	25,700
キッズスタジオ事業	7,500
林地崩壊防止事業	11,422
災害復旧事業	227,800

出雲市地域振興基金条例制定
地域振興や市民の一体感を醸成を図るため、合併特別債を財源とする基金を新設します。
21世紀出雲神話観光大国の建設促進条例の制定
交流人口1千万人の「神話観光大国」を目指し、個性豊かな観光地づくりを推進するため、市民参加と協働による観光の振

人事案件

興に取り組み条例を制定(詳しくは10月27日号の広報いずもでお知らせします)。
出雲市教育委員会委員の任命
打田義富さん(浜町)の任命に同意がありました。

主な単行議決案件

工事請負契約の締結
北荒木赤塚線橋梁上部工事備品の取得
平田消防署の高規格救急自動車購入について議決されました。

シリーズ男女共同参画

男女共同参画のまちづくりをめざして

少子高齢化、情報化、国際化の進行に伴って、家族形態は多様化し、地域社会も著しい変化をとげています。そんな中、男女が互いに人権を尊重し、性別に縛られることなく、個性と能力を発揮できる社会づくりが必要です。
市では、こうしたまちづくりを進めるため「男女共同参画のまちづくり懇話会」を設置しています。
今回は、懇話会の取り組み状況をお知らせします。



活発な意見交換が行われた地区公聴会(9月20日 多伎公民館)

地区公聴会を開催

9月16日から24日にかけて、懇話会が中心となり、市内7会場で行う「地区公聴会」を開催しました。

計248人の参加があり、家庭や地域社会、職場での現状や

問題点とつすれば改善されるのかなど、さまざまな意見が寄せられました。

主な意見

地域の、特に年配者の意識は、まだまだ保守的。何でも男性中心で進められる。
企業の意識改革が必要。家族の協力だけでは対応できない

部分もある。
男女の区別なく、お互いが尊重しあえばうまくいくと思う。
若い世代は、自然に家事の分担など協力し合っている。
子どもからの教育が大切。

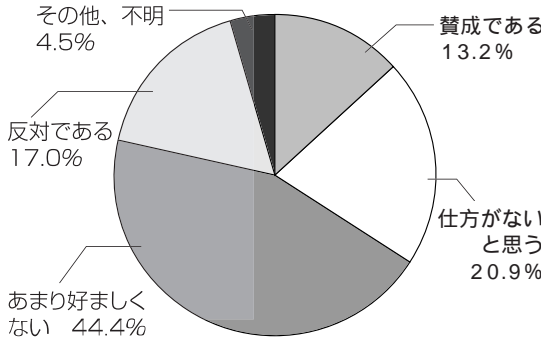
市民意識調査を実施

また、8月に、2千人を対象に市民意識調査を行い、863人から回答がありました。

「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか」との問いに対し、「好ましくない・反対」の回答が61・4%ありました(グラフ参照)。この結果は、国の48・9%、県の59・0%に比べて高く、出雲市での性別によって役割を決めつけ「ことへの意識の高さがうかがえます」。

一方、「男女の地位の平等感」についての質問には、「家庭生活」「職場」「地域社会」とともに約6割の人が「男性のほうが優遇されている」と感じており、性別による不公平感の存在が改めて浮き彫りになりました。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



これからの取り組み

懇話会では、公聴会での意見や市民意識調査の結果を参考に、男女がともに住みよい社会を築くには、行政をはじめ、市民・事業者それぞれがどのような取り組みすべきなのか検討し、市に対して11月中旬に答申を行います。市では、答申を受けて、年内の条例制定を目指します。さらに、その後の事業推進に積極的に取り組んでいく予定です。